

中種子養護学校 学校便り

なかよう便り



令和5年 3月 7日 発行



「心のこもった言葉掛けを」 校長 眞下千代子

言葉には大きな力があります。「言葉に宿るエネルギー」のことを「言霊（ことだま）」と言い、「ありがとう」などの言葉には、プラスのエネルギーが、「どうせだめだ」などの言葉には「マイナスのエネルギー」が宿っていると言われます。

今年度、生徒指導提要が、今日的な課題に対応して12年ぶりに改訂されました。（文部科学省のHPで閲覧できます）今回、子どもの権利について明記され、一人一人を大切にされた教育が行われることが求められています。特別支援学校では、すでに取り組んでいますが、改めて、子供たちがより元気に前向きになるための「言葉」の大切さを感じています。子供たちや職員・保護者みんながプラスのエネルギーを引き出し合える「心のこもった言葉」に溢れる学校を目指していきたいと思ひます。

令和4年度も皆様のおかげで無事終了することができそうです。御協力をありがとうございました。

【高等部屋久島支援教室】

屋久島高校の理解・協力の下、学校行事や教科（音楽、家庭、保健体育）の授業を一緒に受ける「交流・共同学習」に取り組んでいます。授業中もお互いに声を掛け合い協力しながら学習を行い、楽しく充実した時間を過ごしています。（写真は3年生音楽の授業）

支援教室の生徒にとっても、より多くの生徒や先生方と交流することで良い刺激となり、お互いの理解につながっています。



【小学部】 「先生新記録出たよ」

この言葉は、先日の「なかようチャレンジ」が終わって教室へ帰るときの町龍琥さんの言葉です。この言葉には今まで必死に練習に取り組んで自己記録を塗り替えた喜びの思いが凝縮されていたように思ひます。また、体育館の中では、これまで自立活動で学習した個々の内容を発表する児童も

いました。苦手な姿勢を克服したり、スイッチを使ってタブレットを操作したり日頃の成果が十分に発揮された内容でした。たくさんの応援ありがとうございました。



【中学部】 立志式を終えて

2月9日（木）に立志式を行いました。14歳を迎えた3人の2年生が、それぞれ「やさしい」「幸」「成長」と自分で書いた色紙を掲げ、将来に向けての誓いの言葉を述べました。その後は、後輩からお祝いの言葉もらい、最後には、保護者からいただいたメッセージを、モニターに映しながら担任が代読し立志式を終えました。お祝いの言葉をもらった生徒は、目を真っ赤にして、保護者からの言葉をかみしめていました。



【高等部】 校内販売会

校内販売会に向けて「販売の仕事を知る」「適切な販売方法を体験する」「働く喜びを感じる」ことを目標に、質の良い製品作りや販売の準備、練習などに取り組んできました。2月3日（金）の当日は、「お客さんが気持ちよく買い物をできるように」を意識しながら練習の成果を発揮し、販売会を成功させることができました。「自分たちの製品が売れてうれしかった」「丁寧さを意識して接客ができた」など、生徒たちのいろいろな学びにつながりました。



中種子養護に1年勤めての感想

小学部 1年1組担任 小川 宗一郎

以前、種子島の小学校に赴任したときから9年経ち、当時小2だった子供たちも今では高校生。時の流れを感じながら赴任した2度目の種子島でした。学校は変わっても同じように温かい雰囲気、安心したのを覚えています。

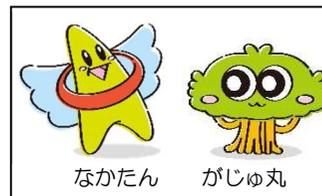
先生方も温かく、体育、手話、口腔マッサージなど、詳しい先生のところへ聞きに行くと丁寧に教えてくださいました。中種子養護学校の強みは、このような職員同士協力する雰囲気のあるところだと感じています。

これからも、種子島の自然を楽しみつつ、この素敵な学校でどんどん学び、子供たちに還元していきたいと思ひます。

「なかたん」と「がじゅ丸」の名称決定について

「なかたん」と「がじゅ丸」は令和3年度に旧職員の落書き？から生まれました。それを本校の保護者がリデザインしたものが、中種子養護学校の公式キャラクターとして正式に認定されました。今年度の9月には児童生徒から名称を募集し、選挙によって「なかたん」「がじゅ丸」に名称が決まりました。

「なかたん」と「がじゅ丸」は、これからも色々な場面で活躍します。末永くかわいがってあげてください。



ホームページ・ブログ公開中です。是非ご覧ください。



(ホームページ)

www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/index.html



(ブログ)

nakatane-h-ss.edu.pref.kagoshima.jp/

開かれた学校作りを目指して

たくさんの雑巾をありがとうございました！（児童生徒会係）

昨年末に、鹿児島県法人会連合会の方々と中種子町老人クラブ連合会の方々から、たくさんの手作り雑巾を贈呈していただきました。代表して、児童生徒会役員で贈呈式やお礼状贈呈を行い感謝を伝えました。いただいた雑巾は大切に使って、学校をきれいにしていきたいと思えます。



地域の外部講師による音楽鑑賞会

12月21日（水）に種子島ウィンドアンサンブルの方に来ていただき、音楽鑑賞会を行いました。子供たちに身近なアニメの主題歌やクリスマスの曲などたくさんの曲を演奏してもらいました。曲に合わせて自然と手拍子をしたり、身体を揺らしたりと楽しい時間を過ごすことができました。



おはなしパレット読み聞かせ会

小学部は10月24日（月）、中学部は12月7日（水）に、中種子町おはなしパレットのみなさんによる読み聞かせ会を本校で実施しました。読み聞かせ会を通して、子供たちが本の面白さや素晴らしさを感じ、よりいっそう読書に興味・関心をもつ貴重な機会となりました。



地域支援係より

地域支援係では、幼保子ども園、小・中・高等学校巡回相談の他に、コスモス親子教室や5歳児健診に参加し、支援方法のアドバイスや特別支援教育に関する情報発信を行っています。自立支援協議会子ども部会では、学校や医療・福祉が連携して支援できるように「よろ〜てファイルの活用」について話し合いました。様々な機会、相談支援センター、市町の福祉課、保健師、医療関係者とながかり、情報共有をしています。このつながりを、校内の支援や地域での活動へ生かしていきたいと思えます。

研修係（なかよう公開と研修会）

1月26日、「なかよう公開授業と研修会」を開催しました。午前中は小・中学部の公開授業及び授業研究会を行い、「ICTを活用した授業づくり」について研修しました。タブレット端末をコミュニケーションの補助手段として活用、文房具として活用、友達と意見を共有するための活用等、児童生徒一人一人に合わせた活用の仕方を参加者の先生方にも見ていただき、たくさんの御意見をいただく良い機会となりました。午後は鹿児島大学教育学部の雲井先生による講演「学習障害の背景と学習支援」があり、有意義な研修会となりました。



人権同和教育係

職員室の廊下に「人権の花畑」が掲示されています。12月の人権週間に合わせて、全学部で人権に関する学習を通して制作したものです。1つ1つのひまわりの真ん中には、児童生徒の顔写真があり、花びらの部分には「良い所」や「頑張っている学習している写真」でいっぱいです。来校した際は、ぜひ御覧下さい。



児童生徒各種表彰一覧（敬称略）

○ 南日本硬筆展

【優秀賞】渡辺達己 【推薦】市之瀬一牙、南雄大 【金賞】鹿島悠、倉鷹斗、羽嶋遊撃主、深江涼香、富永優、西川遥毅、岩川直生、久永りこ 【銀賞】岡崎樹、岡崎澪菜、松山亜衣、西川碧咲、【銅賞】槇姫愛、岡崎わかな、町龍琥

○ 夢立体作品展

【特選】當間優日 【入選】岡崎わかな、日高瑛仁、町龍琥、西川碧咲、日高旭、鎌田宗哉、羽生一心、槇姫愛

みなさんよく頑張りました！

